

行政視察等報告書

2020年11月24日

米子市議会議長様

会派名 よなご・未来  
 代表者氏名 西川章三  
 提出者氏名 土光均



下記のとおり報告します。

記

項目	<input type="checkbox"/> 現地調査 <input type="checkbox"/> 行政視察 <input type="checkbox"/> 要請・陳情活動 <input checked="" type="checkbox"/> 研修会への参加 <input type="checkbox"/> 会議への参加
参加者	土光均
期日	2020年11月19日（10時30分～12時30分）
[概要] (年月日・場所・内容) 2020年11月5日 PARC 自由学校教室において開催された「PARC 自由学校講座」に参加。(コロナ禍のため現地への参加ではなくインターネット環境を使った ZOOM ミーティングへの参加) ・テーマ 命の弱さと強さや人間の自立と依存などの二面性、また、共生の本質をどのように受け入れていくかについても、障害のあるお嬢さんを授かった時から、むしろ、足が地に付いたとおっしゃる最首悟さん（和光 大名誉教授）に話して頂く。	
[所感] 最首悟氏は1970年代全共闘世代の人。その後東大助手として24年間過ごし、1994年退職。また、障害ある子を授かったこともあり、人と人との関係、組織のあり方、管理社会、そういったことを常に考えてきている。彼はいう「組織は3日で腐る」「ゆるみ・あそびのない組織は管理社会につながる」「組織を厳密にしあそびがなくなると独裁を招く」 米子市などの基礎自治体においては、市民ひとりひとりが、お互いの顔を見ながら、それぞれの自分の生活・思いから、市のあるべき姿、方向性を共に考え・議論が必要となる。その際、お互いを尊重し、つまり「わたしがあ、あなたがある」ということから出発し、いい意味での「たよりたよられる」関係を築くことができれば、誰にとっても暮らしよいまち、誰も取り残さないまちが見えてくるのではないかと。	
この講座を通して、このような哲学を学ぶことができた。	
経費	参加費・資料代 1,000円